

受付	令和 6年 2月 21日
	午前・午後 11時 20分

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月 21日

高山村議会議長 西原 澄夫 様

高山村議会議員 久保田 雄吉

質問事項	質問の趣旨
<p>1.高山村の人口減少の厳しい現実を改めて知ること、将来の高山村を真剣に考える契機になればと思う。</p>	<p>最近の報道によれば、長野県の人口が「今年の1月あるいは2月の統計公表段階で200万人を下回る」と言われています。</p> <p>高山村で、昨年度5回行った議会報告会では、どこの会場でも、村民の皆さんから多く聞かれたのは、村に子供が少ない、どうしたものか？ということです。</p> <p>実際、村内で子供を見かける機会も明らかに少なくなって来ました。子供がいない集落に未来はありません。</p> <p style="text-align: center;"><b>質問要旨と質問</b></p> <p>総務省の将来推計人口によれば、2045年の高山村の人口は4895人になるとされています。</p> <p>2045年と言えば21年後です。</p> <p>それほど遠くない将来にこの村の人口が5000人以下になってしまうという考えたくない未来が待っていることとなります。</p> <p>① 昨年、この高山村で生まれた赤ちゃんは何人か、過去5年までの分も含めて教えてもらいたい。</p> <p>村として出生数の現状について、どのように危機感をもっているかお聞かせください。</p> <p>② 今、村では、人口減少対策として、移住定住推進に力を入れています。私も必要な政策であると考えますが、これはどこの市町村でも行っており、その効果は限られるのではないかと思います。村では移住定住の推進の人口減少対策としての効果はどの程度見込めると考えておられるのでしょうか？</p> <p>③ 現在、政府では「異次元の少子化対策」を推進すると言っています。この高山村でも正に「異次元の少子化対策」が必要な時ではないか、つまり、今までの考え方の延長線上ではなく、あっと驚くような政策を考えることが必要であると思います。</p> <p>あらゆる知恵を絞って、実効性のある政策を実行してもらいたいと思うが、具体的な政策と村長の決意を聞きたい。</p>

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。